

令和 4年 3月 18日

岐阜県立大垣工業高等学校長

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和3年度 岐阜県立大垣工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年3月8日(水)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
- | | | |
|-------|--------|-------------------------|
| 会 長 | 近澤 親一 | 育友会会長 |
| 副 会 長 | 小塚 生開 | 共立紡機株式会社 代表取締役 |
| 委 員 | 二村 勝 | 岐阜県 PTA 連合会 顧問 |
| | 片桐 実智 | 地域代表 |
| | 大石 玉穂 | (財)岐阜県立大垣工業高等学校同窓会事務局 |
| | 宇納 美樹 | 育友会副会長 |
| | 多賀 英昭 | 太平洋工業株式会社 品質保証部 |
| | 窪田 睦也 | 大垣警察署 生活安全課長 |
| | 長瀬 ちえ子 | 大垣夢ある女性の会 事務部長 |
| | 浅野 康博 | イビデン株式会社執行役員 経営企画本部人事部長 |
| 学 校 側 | 浦山 朋征 | 校長 |
| | 桐山 明宏 | 副校長 |
| | 樋口 高広 | 教頭 |
| | 田邊 勝敏 | 教頭 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 全日制のスクール・ポリシーについて

意見1: 学校としての目的と個人の目標が明確になっている。

(2) 定時制のスクール・ポリシーについて

意見1: 具体的でわかりやすく、とてもよい。

意見2: 生徒一人一人に寄り添ったものになっている。

(3) 全日制自己評価について

○教務部について

意見1: アンケートにおいて悪化傾向が見られる。原因を究明し、対策を検討するとともに、実施することを望む。検討して改善につなげてほしい。

- 意見2：生徒対象のアンケート、保護者対象のアンケートの結果が、いずれも令和3年度の割合が下がっているのはコロナの影響があるのか。なかなか登校できないのが原因なのか。
- 意見3：学習に空白時間を作らないために、素早い切り替え、柔軟な対応が必要である。家庭でのオンライン授業の環境を整えることも大切となってくる。
- 意見4：コロナ禍で学校に行く機会が激減し、生徒が学校で何をしているのか保護者には分かりづらい。学校と保護者の情報の共有ができる仕組みが必要である。

○生徒指導・教育相談について

- 意見1：コロナでの生活の変化に精神的な不安を抱えている生徒へのメンタルヘルスケアの必要性を感じる。
- 意見2：いじめ撲滅、交通事故防止などの重点項目に加え、「生命」を大切にする指導も必要である。こちらも学校と保護者とが連携できるとよい。
- 意見3：いじめに対して細かいことでも対応していることは素晴らしい。相談しやすい環境、体制づくりを望む。
- 意見4：いじめ対策や自転車マナー等の対策が取られておりよいと思う。
- 意見5：登下校時のマナーは数年前に比べると、格段に向上している。
- 意見6：出席停止での長期欠席者が出ているようだが、出席停止の生徒はオンラインなどで授業を受けているのか。
- 意見7：女子のスラックスの選択制度の導入について大賛成である。自転車に乗って通学する際にスカートでは寒いため、他校の女子生徒ではブランケットを巻いて乗る姿について、それでよいのかとと思っていた。

○進路指導部について

- 意見1：進路実績において例年並みというのは先生方の指導のおかげである。一人一人に寄り添う指導を継続してほしい。
- 意見2：大工未来手帳の活用を充実させ、生徒の未来をデザインする助力をしてほしい。活用されていないのであれば手帳そのものの見直しが必要である。
- 意見3：1年生の頃から進路の情報に触れられる環境が増えるとよい。
- 意見4：インターンシップはコロナ禍の中、企業に出向くのは難しいか。
- 意見5：3年以内に離職する生徒がまだまだ減らないと聞く。就職後の指導もお願いしたい。
- 意見6：地元中小企業や中小企業経営団体と連携をするなどして、進路の選択肢を増やす取組を進めてほしい。
- 意見7：警察官の募集など、幅広い情報提供を行ってほしい。
- 意見8：卒業し就職したものの上手いかなかった卒業生に対して相談に乗ってほしい。

○保健・健康管理について

- 意見1：コロナ禍ということで、感染対策等大変さが感じられた。
- 意見2：生徒のメンタル不調も多いので、メンタルヘルスのケアも取り組んでほしい。
- 意見3：感染症発生時（緊急時）対応マニュアルを再整備されるとよい。
- 意見4：大垣市歯の優良学校など認定されていることは、とても素晴らしいことである。生徒に歯の大切さを意識付けていることは、高校ではなかなかできない事だと思う。

意見5：生徒の生命を大切にする授業等を行ってほしい。

○工業部について

意見1：素晴らしい成果（成績）を収められた。ものづくりの競技大会や各コンテスト等活躍を耳にしており、その都度嬉しく思う。先生方の指導のおかげである。

意見2：地域を盛り上げる取組は素晴らしい。

意見3：市や地元企業、教育機関と連携しての取組はとてもよい。一市民として参加することもあり、本校生徒にとっても好感が持てる。

意見4：連携する企業が大きい所ばかりなので地元の中小企業を知る機会が少ないと感じる。生徒の選択肢を増やすという意味でも、地元の中小企業経営団体（岐阜県中小企業家同友会など）との連携があってもよい。

意見5：オンラインを利用したインターンシップに取り組んではどうか。

意見6：地域連携、出前授業等、コロナ禍でどう対応していくか今後も検討が必要である。

(4) 定時制自己評価について

意見1：求人増加傾向は期待の大きさであり、企業が求める人材教育の必要性を感じる。

意見2：生徒のバックボーンまで考えての指導には頭が下がる思いである。一人一人が自立、自律した社会人になるように手厚い指導をお願いしたい。

意見3：多様な生徒がいる事、その対応に苦労していることが分かった。これからも一人一人に寄り添った指導をお願いしたい。

意見4：アルバイトの奨励はよい取組だと思う。欲を言えば企業への就職をして学校に通うことができれば目的意識を持った学習ができるのではないかと考える。地元企業との連携が増えてこれば実現できるのではないかと考える。

意見5：社会ルール、マナーについて、さらに指導を進めてほしい。

意見6：学力だけでなく、私生活等においても指導や相談に乗ってほしい。

意見7：基本であるマナーを身に付ける為にどうしていくかが大切である。

(5) 課題研究発表について

意見1：都合の合わない保護者もオンラインで発表会が見られるのはよいことである。

意見2：各発表が短時間でまとめられていて、わかりやすかった。それぞれの学科の専門分野を3年間学習し習得しているからこそその内容のある発表であった。

意見3：各科の取組が見られてよかった。

意見4：本校で学び、これからの環境に関する技術やモノづくりの現代社会の第一人者となれるような情報発信ができる高校生であるよう期待している。生徒一人一人の個性が直接社会で生かされるよう主体性をもった教育で、人づくりとモノづくりを両立させた持続可能な社会づくりをめざす校風になるよう、これからの本校の活躍を期待している。

6 会議のまとめ

- ・全日制のスクール・ポリシー、および、定時制のスクール・ポリシーについては、全ての委員から承認が得られた。

- ・教務部の自己評価については、アンケートの取り方が昨年度までの方法と異なる手法を用いたため、従来の結果との差が際立ってしまった。アンケートの実施時期、実施方法などを再検討し、次年度の調査をすすめる。また、コロナ禍のため学校の取組や現状などを保護者に直接伝える機会が減少しており、それに代わる情報提供の在り方を工夫する。
- ・いじめやメンタルヘルスケアなどについては、これまで通り、組織できめ細やかに対応していく。
- ・授業やオンラインでの集会の機会などをとらえ、「生命」を大切にする話や、交通マナーの向上などについて話かけていく。
- ・大工未来手帳の活用を推進し、手帳を役立てられるよう指導を推進する。進路指導部に限定せず、各学科での指導、担任による使い方指導をすすめる。
- ・1年生に対して、先輩たちの就職先などの情報を提供する。
- ・インターンシップについては、状況に応じた対応を次年度も相談し、実施に向けて推進する。
- ・地元の中小企業について情報提供や離職についての話は学科が中心となって伝えてきているが、今後も情報収集を行い、生徒へ情報を還元していく。
- ・ものづくりの競技大会や各コンテスト等への取組や、市や地元企業、教育機関と連携しての取組を推進する。ものづくりの技術の伝承を継続する。
- ・課題研究は今後も学科の特色を生かした研究テーマを設定するとともに、モノづくりを通して人づくりを推進し、コロナの状況に応じた発表方法を模索し多くの関係者に見てもらえるようにする。